

コアBA認定ハンドブック

ECBA[™]、CCBA[®]、CBAP[®] 資格認定を追求するためのIIBA[®]ガイド。

2020年8月

目次

1.0	はじめに.....	3
2.0	公正かつ公平な ポリシー.....	3
3.0	認定プロセス.....	4
	ステップ1 - あなたのIIBAアカウントにログイン.....	4
	ステップ2 - 出願料の支払い.....	4
	ステップ3 - BA 開発ログに時間を記録する.....	4
	ステップ4 - 出願を完了して提出する.....	5
	ステップ5 - 受験料を支払う.....	6
	ステップ6 - 日程調整と受験.....	6
4.0	お役立ち情報:.....	6
	認定受験料.....	6
	キャンセルおよび日程変更ポリシー.....	6
	認定に関するFAQ.....	6
5.0	監査.....	6
6.0	異議申し立て プロセス.....	7
7.0	認定の中断または撤回.....	7

1.0 はじめに

IIBA® コア・ビジネスアナリシス (BA) 認定ハンドブックへようこそ。このハンドブックでは、お客様のコアなBA資格認定レベルを達成するためのプロセスと、IIBAのウェブサイト上に既に情報がある場合、主要なリンクを通じて特定のウェブページに個人を誘導します。詳細については、各リンクを確認してください。

IIBA® マルチレベル・コンピテンシーベースのコア・BA認定プログラムは、あなたの知識とスキルを認識し、生涯にわたるビジネスアナリシスのキャリアアップをサポートします。

各レベルには [A Business Analysis Body of Knowledge® \(BABOK® ガイド\)](#) に準拠している独自の資格要件、コンピテンシーベースの評価 (例：試験) があります。

レベル 1

BA分野へのエントリー資格。



[ECBA の要件と 試験情報](#) については、[ここをクリック](#)してください。

レベル2

BAの経験2-3年を有するBA専門職を認定します。



[CCBA の要件と 試験情報](#) については [ここをクリック](#)

レベル 3

BAの経験をリードし、5年以上のBA経験を有しているBA専門職を認定します。



[CBAP の要件と 試験情報](#) については [ここをクリック](#)

これらの認定プログラムは、国際標準化機構 (ISO)、ISO/IEC 17024適合性評価に適合するように慎重に設計されており、人材の能力を証明するための基準を概説しています。

CCBA®およびCBAP®の指定を達成した個人は、ビジネスアナリシスの職業に対する継続的な専門的コミットメントを示し、再認定要件を満たし、3年ごとに資格情報を更新する必要があります。詳細については、[再認定 ハンドブック](#) を参照してください。 エントリー レベルの資格として、[ECBA は再認定 \(資格更新\)](#) を必要としません。

2.0 公正かつ公平な ポリシー

IIBAの方針および手続きは、公正かつ公平な認定および評価の開発、監督、評価および維持に貢献します。IIBAは、障害を持つアメリカ人や障害を持つオンタリアンのためのアクセシビリティ法 (AODA) を含むすべての適用される法律および規制を遵守しています。

3.0 認定プロセス

オンラインで出願プロセスを完了するためのステップバイステップの説明については、以下の [ECBA 出願プロセス](#) および [CCBA および CBAP 出願プロセス](#) ドキュメントを参照してください。

ステップ1 - あなたのIIBAアカウントにログイン

[ログイン](#) あなたのIIBA資格情報を使用するか、アカウントを作成します。

ステップ2 - 出願料の支払い

[[認定の概要](#)] ページで、認定を選択し、出願料を支払います。 :出願料は返金不可で、譲渡も不可です。支払いが完了すると、要件が表示され、目標を達成して進捗状況を追跡できるようになります。

注: 出願料を支払う前または後に [BA開発ログ](#) に時間を記録できますが、出願料を支払うまで [認定の概要](#) ページで進捗状況を確認することはできません。

ステップ 3 - BA 開発ログに時間を記録する

出願に記載するすべての時間は、[BA 開発ログ](#) に入力する必要があります。ECBA™資格を得るために専門能力開発時間を必要としますが業務経験は必要ではありません。CCBA®およびCBAP®資格を得るためには専門能力開発時間+業務経験時間を必要とします。

ECBA™専門能力開発 活動は、[BABOK®ガイド v3.0](#) と一致し、過去4年間に **最低21時間**、以下のカテゴリーのいずれかで最低21時間の活動を行う必要があります。

- 教室コース (IIBA®認定教育プロバイダー、「EEP」コース、その他の トレーニング プロバイダ・コース)
- チャプターイベント (プレゼンテーション、ワークショップ、会議 日)
- チャプター・スタディグループ (研究会、勉強会など)
- 会議 (基調講演、トラックセッション、チュートリアル、ワークショップ)
- 自主学習 (BABOK®ガイドv3.0の読み取り/研究、アーカイブされた ウェビナー)
- オンラインコース (IIBA®認定教育プロバイダーコース、その他のトレーニング プロバイダーコース、ライブ ウェビナー)

CCBA® 専門能力開発: 過去 4 年以内に最低 **21時間** 学習する必要があります。 **CBAP専門能力開発:** 過去 4 年以内に最低 **35時間** 学習する必要があります。 コース内容は [BABOK®ガイドv3.0](#)と直接一致していなければなりません。

コンテンツは、次の条件を満たす必要があります。

- 正式なコースと同様にモデレート/ファシリテートされる(つまり、セッションのモデレーター、または教材を通じてグループ/個人を率いるファシリテーター/インストラクターが必要)
- 測定可能な学習目標(または一連の目標)を持ち、ビジネスアナリストの役割(すなわち、行動の変化またはスキルの向上の観点から)に直接適用可能でなければならない
- 学生が教材と対話する機会を提供する(例えば、学習を有意義なものにする質問)
- 提示されるタスクまたは目的を實踐し、ファシリテーター/モデレーターによって評価される機会を提供します。

IIBAの 認定教育プロバイダー (EEP™) プログラムのコースの一部は、すでに上記の基準を満たしていることを確実にするために、IIBA®によって評価・検証されていますので自動的に専門能力開発要件に適合します。

CCBA® 業務経験： BABOK® ガイドに沿った過去7年間における最低 **3,750 時間** (約 2 ~ 3 年の作業) のビジネスアナリシスの実務経験が必要です。これには、2 つの 知識エリア においてそれぞれ 900 時間以上、または 4 つの 知識エリアのそれぞれで最低 500 時間以上 を必要とします。

CBAP®業務経験： BABOK®ガイドに沿った過去10年以内 に、**最低7,500時間の** (約5年以上の勤務) のビジネスアナリシスの業務経験が必要です。これには、4つの 知識エリア ごとにそれぞれ最低900時間が含まれ、合計で必要な7,500の合計のうち少なくとも3,600時間が含まれます。

CCBA® および CBAP® 推薦人 は、**CBAP® 受信者、キャリア・マネージャー、またはクライアント (内部または外部)** のいずれかです。理想的には、あなたの2人の推薦人のうちの少なくとも一人は、少なくとも6ヶ月間あなたを知っていることが望ましい。

ステップ4 - 出願を完了して提出する

出願書を完了します。すべての要件(または目標)が満たされると、出願書を提出できるようになります。

出願書の提出を完了するために、利用規約 と 行動規範 の両方に同意します。出願書を送信すると、出願の「承認」または「承認保留中の監査」の場合は、その旨電子メールで通知されます。後者は、出願が監査中であることを意味します。詳細については、以下の「監査」を参照してください。

ステップ5 - 受験料を支払う

出願が承認されると確認の電子メールが届きます。試験を受けるには、その承認メールの日付から1年以内に受験します。あなたの出願を失効させないようにすることは、あなたの責任です。出願が失効した場合は、出願料を再度支払い、要件を満たしていることを再度確認し、再度受験料を支払う必要があります。

やむを得ない事情がある場合は、出願期間の [延長状況](#) を申請することができます。

ステップ6 - 日程調整と受験

受験はいつでもスケジュールできます。希望する日時を確保するため、また、初回の受験で不合格だった場合に再受験するための時間を確保するため、早めの受験をお勧めします。

スケジュールプロセスと ID (ID) 要件を含む試験プロセスの詳細については、「[試験情報](#) ページを参照してください。1年間の有効期間内に、いつでも3回まで受験できます。3度受験したら、受験の有効期限が切れるまで待ってから、改めて出願して受験する必要があります。

4.0 お役立ち情報:

[認定受験料](#)

[キャンセルおよび日程変更ポリシー](#)

[認定に関するFAQ](#)

5.0 監査

出願が「承認保留中の監査」状態の場合は、出願が監査対象としてランダムに選択されていることを意味します。

出願者は、出願書類に記載された情報について自らの責任において検証を行い提供するものとします。

出願の監査が合格の場合、申請が承認され、承認を確認し、受験料の支払いに進む旨のメールが届きます。

審査に合格しなかった場合、IIBAはその理由の詳細を電子メールでお知らせし、申請は承認されません。その際、支払われた費用は全て没収されます。

監査が成功しない場合、IIBAは電子メールで理由の詳細を提供し、出願は承認されません。支払われたすべての出願料は没収されます。監査が合格しなかった理由を改善した後で、再度出願することができます。また、certification@iiba.org で IIBA に連絡して、決定に異議申し立てすることができます。

6.0 異議申し立て プロセス

出願の監査が失敗した場合、電子メールを certification@iiba.org に送信して異議を申し立てする権利があります。

IIBAは、最大90日間の猶予をもって、申し立てを審査し、出願の有効性に関する拘束力のある決定を下します。情報の検証に必要と考えられる情報や明確化については、IIBAから連絡を受ける場合があります。そして最終的な決定はあなたに電子メールで通知されます。

7.0 認定の中断または撤回

IIBA は、報告された業務上の不正行為やECBA™, CCBA®, またはCBAP® のロゴや商標の不正使用を確認した後、いつでもECBA™, CCBA®, またはCBAP® の認定を取り消す権利を留保します。

IIBAはまた、ランダムな事後監査を実施する権利を留保します。

支払われるすべての手数料は、失効または停止された認定の場合に没収されるものとし、認定が取り消された認定者は、IIBAの裁量で決定される期間の間、ECBA™、CCBA®、またはCBAP® に再度出願することはできません。